

南三陸町空手道連盟の皆さん



## 南三陸町空手道連盟が稽古開始

志津川町空手道連盟と歌津町空手道連盟は、町の合併に合わせて合併し、南三陸町空手道連盟として活動を始めています。

志津川町空手道連盟は昭和49年11月に設立し、以来、空手愛好家の心身の鍛練と技術の向上、青少年への指導育成に努めてきました。専用の道場が無い不利な条件にも関わらず、その努力が実を結び、昭和58年の全日本防具付空手道選手権大会の団体戦で優勝するまでになりました。以降、同大会の個人戦では5人の優勝者（計15回）が誕生しています。

会員の増加に伴い、昭和62年1月に、指導者を派遣することで歌津町の会員が分家し、歌津町空手道連盟を設立しました。その後、歌津出身の指導者も誕生しています。

このように、深いつながりを持つ両連盟は、町の合併と同時に合併して、南三陸町空手道連盟を設立しました。旧志津川町空手道連盟が志津川本部に、旧歌津町空手道連盟が歌津支部として活動しています。会員は約70名。志津川本部は毎週月・木曜日に志津川公民館体育館で、歌津支部は毎週月・金曜日に歌津中学校体育館柔剣道場で、日々稽古に精進しています。

### ◇南三陸町空手道連盟への連絡先

志津川本部：榎 春夫さん ☎46-5347

歌津支部：近藤飛鳥さん ☎36-2242

(※)設立時の名称は志津川町空手道協会で、後に志津川町空手道連盟に改称しました。



青少年健全育成功労者表彰を受賞

榎 春夫さん  
(53歳・中町の町)

南三陸町空手道連盟会長の榎春夫さんが、昨年11月に開催された「第28回青少年健全育成みやぎ県民のつどい」で、「青少年健全育成功労者表彰」を受賞されました。

榎さんは、志津川町空手道連盟設立当時から防具付き空手道の指導を通じ、青少年の健全育成に貢献されています。

平成3年から志津川町空手道連盟会長を務め、南三陸町空手道連盟の会長として連盟をまとめられています。また、志津川町体育協会理事長、宮城県防具付空手道連盟強化部事務局長として、広範囲に活躍されています。

### ～榎春夫さんからメッセージ～

私は、空手が好きで子どもたちを指導しているだけでしたが、このような賞をいただけるとは思っていませんでした。会員の中から新たな全国チャンピオンが生まれることを目標に、今後も指導を続けたいと考えています。



(株)カネキ吉田商店 代表取締役の吉田信吾さん

### ～吉田信吾さんからメッセージ～

この賞は、地域の水産加工業全体に対し贈られたようなもので、当社はその代表として受けたものと考えています。これを励みに、今後も頑張っていきたいと思えます。

## 株式会社カネキ吉田商店 「七十七ビジネス大賞」を受賞

メカブなどの水産加工品卸売業を営む、株式会社カネキ吉田商店（◎大森町・代表取締役 吉田信吾氏）が、「平成17年度第8回七十七ビジネス大賞」を受賞されました。

この賞は、財団法人七十七ビジネス振興財団が県内を拠点に優れた商品サービス、高い技術力や経営手法などにより、産業・経済の活性化に貢献した企業などを表彰するもので、今回は県内の4つの企業が表彰されました。

カネキ吉田商店は、三陸産を主体とするメカブ製品の通年安定供給体制を先駆けて構築し、市場などを通じて全国の量販店などに販売。これが、メカブの健康食ブームを導いた先達者ともいわれ、常に業界上位の売上を確保しています。また、多種多様化が進む消費者のニーズに応えたウニ、アワビの加工品などの開発及び流通拡大にも努められた、これらの功績により表彰されました。